

# 令和2年度事業報告

社会福祉法人岡山こども協会

## 1 法人をとりまく社会状況

社会福祉法人は非営利法人としてふさわしいガバナンスと高い透明性を備え、主体性をもった自律的な法人経営に取り組み、地域のさまざまな生活・福祉課題に積極的対応をすることが求められています。他方、地域共生社会の実現に向けた議論が進められる中で、社会福祉法人がその中核的な担い手として地域の中で主導的な役割を果たさなければなりません。

少子化と言われ始めてからかなりの年月が経ちます。出生数が死亡数を下回る「自然減」は14年連続で、年々過去最大の減少幅を記録しています。厚生労働省の発表（速報値）では、2020年の「自然増減」は、推計で51万1,861人、前年より1万6,544人の人口減になります。2020年の出生数は統計の残る1899年以降で最少の87万2,683人（前年比約2万5,917人減）となっています。死亡数は、11年ぶりに減少になり、前年比9,373人減の138万4,544人です。婚姻は前年比7万8,069組減、戦後最少の53万7,583組となり、離婚は前年比1万6,314組減の19万6,641組です。新型コロナウイルス感染症の影響で、結婚や妊娠を控える動きが出ているとみられています。

一方、児童虐待、こどもの貧困、片親家庭の増加、地域での孤立、スマートフォン依存など、こどもや家庭を取り巻く困難な課題が多く見られています。特に児童虐待の相談件数は、2019年度で19万3,780件となり、前年比3万3,942件増加しています。率にして21.2%増えて、過去最多を更新しました。最も多かったのは、こどもの目の前で家族に暴力をふるったりする心理的虐待で56.3%、次いで殴るなどの暴行を加える身体的虐待が25.4%、こどもの面倒を見ないネグレクトが17.2%、性的虐待が1.1%となっています。また、児童相談所への相談の経路では、警察などからの通告が9万6,473件（49.8%）で最も多くなっていて、父親が母親に暴力をふるっているところなどをこどもが目撃する面前DVが増えているということです。

新型コロナウイルスの影響で仕事を失った人は、見込みも含めて10万人を超えたことが、厚生労働省が行った調査でわかりました。当法人の利用家庭や職員においても、収入が減少した等の相談があります。関係機関に相談できるようつないでいく役割も求められています。

## 2 国の保育園施策とその方向

平成27年4月から始まった「子ども・子育て支援新制度」は、「すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために。すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるために」という考え方に基づいて制度が作られました。5年以上経過し、見直しや改正を行い運用されていますが、抜本的な解決には至っていません。待機児童の問題は、保育の需要がおよそ5年後をピークに減少の方向に向かうとも言われていますが、潜在的なニーズの問題もあり、この現象は当分の間続きそうです。小規模保育所や企業主導型保育所等の多様な施設を推進する一方で、担い手となる保育士不足が続いており、大都市圏と地方で取り合いになっているような現状も見られます。赤磐市においても保育士の確保が年々厳しくなっており、事実上の待機児童が発生しているような状況が続いています。このような状況を踏まえ、国は新たに新子育て安心プランを発表しました。令和3年度から6年度末までの4年間で、14万人分の保育の受け皿を整備するとのこと。常勤保育士の配置要件を緩和する等の施策が挙げられていますが、一方で保育の質の低下も懸念されています。

## 3 保育園事業・障がい児通所支援事業・放課後児童健全育成事業・子育て支援事業の運営概要

令和2年度は、保育園4か所、認定こども園1か所、障がい児通所支援施設及び事業所4か所、相談

支援事業1か所、地域生活支援事業1か所、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）6か所、子育て支援センター2か所を運営いたしました。その運営にあたっては理事会及び経営会議を中心に各種委員会などを定期的に開催し、各事業の運営、合同の研修・行事等について調整を図り、実施しました。

保育園事業については、地域のニーズに対応するため、赤磐市と協議しながら進めました。年度途中の入園希望が相次いだものの、保育士の確保が難しく、需要に応えられていません。保育士等の確保を重要課題と位置づけ、法人として多用な雇用形態を採用し、職員の確保に努めました。それでも需要に完全に答えることができていない状況です。

障がい児通所支援事業は、主に幼児対象の「あかいわ児童発達支援センター もみじの家」「保育所等訪問支援 てつなぎ」と小学生以上対象の「放課後等デイサービス こぶしの家及びあんずの家」、相談支援事業として「障がい児相談支援・特定相談支援 わたぼうし」を運営しました。また、地域生活支援事業として「日中一時支援 かりんの家」を運営しました。新型コロナウイルスの影響により、利用者数の増減が見られ、対応に苦慮する一年となりました。障がい児通所支援事業所の利用希望は年々増加しており、受け入れが難しくなっています。保護者や利用児のニーズを把握し、療育内容及び環境の改善に努めていき、地域における中核施設となれるよう、自治体や幼稚園・保育園、他の事業所と連携をとりながら運営していきます。

放課後児童健全育成事業については、「アンドロメダクラブ」「スバルクラブ」「カシオペアクラブ」「オリオンクラブ」「たいようクラブ」「ぎんがクラブ」の6クラブの運営を行ないました。クラブ利用希望者も年々増加しています。適正な運営を実施するために、定員を遵守し、環境の整備・改善を進めます。

子育て支援事業については、拠点で利用状況に差が生じるような結果となりました。地域の方が利用しやすい雰囲気や環境、職員体制を再検討します。また、ホームページの活用、子育て相談専用電話の広報等も進めていきます。今までの活動を継続しつつも定期的に見直しを図りながら、保育園を知っていただき気軽に利用していただくことが今後の園運営にとっても重要であると捉えています。

#### (1) 職員の状況

令和2年度の採用試験等で、保育士は正規職員として5名、非正規職員として3名、指導員は非正規職員として1名、社会福祉士は非常勤職員として1名、調理員は非正規職員として3名採用しました。また、非正規職員であった保育士2名を令和3年4月から正規職員として採用することとしました。

令和3年度当初の職員数は、次のとおりです。

事業名	施設長	副施設長	保育士等	調理員	指導員	看護師	事務員	保育補助員等	合計
本部事務局	0	0	0	0	0	0	5(1)	0	5(1)
あすなる保育園	1[1]	0	22(3)	6(1)	0	1	1	7(7)	38(11)[1]
さくらが丘保育園	1[1]	0	19(3)	4	0	1	1	7(7)	33(10)[1]
とよた保育園	1	0	13(4)	3(2)	0	1	1(1)	4(4)	23(11)
さくらんぼ保育園	1	0	11	3(2)	0	1	1(1)	5(5)	22(8)
いちょうの森こども園	1	0	15(3)	3(2)	0	1	1	5(5)	26(10)
もみじの家	1[1]	0	12(7)[3]	2(1)	0	0	0	0	15(8)[4]
こぶしの家	1[1]	0	8(2)[6]	0	0	0	0	0	9(2)[7]
かりんの家	1[1]	0	4(2)[4]	0	0	0	0	0	5(2)[5]

てつなぎ	1[1]	0	2[2]	0	0	0	0	0	3[3]
わたぼうし	1[1]	0	1[1]	0	0	0	0	0	2[2]
あんずの家	1[1]	0	4[1]	0	0	0	0	0	5[2]
あすなろこどもセンター	1[1]	0	10(7)	0	1(1)	0	0	7(7)	19(15)[1]
さくらが丘こどもセンター	1[1]	0	5(3)[1]	0	1(1)	0	0	5(5)	12(9)[2]
あすなろ子育て支援センター	1[1]	0	2(2)	0	1(1)	0	0	0	4(3)[1]
さくらが丘子育て支援センター	1[1]	0	3(3)	0	0	0	0	0	4(3)[1]
合 計	15[12]	0[0]	131(39)[18]	21(8)	3(3)	5	10(3)	40(40)	225(93)[30]

\*総括主任・副主任は保育士に含む。また、調理員に栄養士を含む。

\*職員数には、産休及び育休中職員を含む。

\*保育士等とは、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、児童指導員等の有資格者をいう。

\* ( ) 内はうち非常勤職員数

\* [ ] 内はうち兼務職員数

## (2) 職員の労務・給与

月給制常勤職員の労働時間は週40時間とし、保育園・こども園は、勤務開始時間は午前7時、終了時間は3園が午後7時、他の2園は午後8時とし、時差勤務としています。また、障がい児通所支援事業所は、勤務開始時間は午前8時、終了時間は午後6時とし、時差勤務としています。放課後児童健全育成事業は、勤務開始時間は午前9時、終了時間は午後7時とし、時差勤務としています。年間総労働時間は、260日・2080時間とし、日曜日・国民の祝日及び年末年始の休日・祝日を除き、年間34日の休日を実施しました。

給与については、就業規則、給与・退職金規程に従って適用しました。また、人事院の勧告に伴い、賃金改善は給与で行い、処遇改善費は手当及び賞与として支給しました。なお、賞与については評価制度を導入しています。人事評価制度に基づいて、昇給・昇格を決定しました。

職務分担は、年度当初に作成し、クラス運営、給食調理、事務等の分担のほかに運動会・発表会等の年間行事、定例行事、環境・保健・広報・写真・図書等の職務について話し合いにより決定しています。

各種会議・PJ・委員会の開催状況は、次のとおりです。

### ア 各種会議・PJ・委員会

会 議 名	出席者及び人数	開催回数	検 討 項 目
経営会議	理事長・常務理事・施設長等8名	年間17回	各事業の運営・財政・行事等検討
保育園・こども園運営会議	施設長・主任等10名	年間5回	保育研修・保育内容・行事の検討等
評価調整会議	理事長・常務理事・施設長等8名	年間2回	賞与評価の調整等
昇給昇格調整会議	理事長・常務理事・施設長等8名	年間1回	昇給昇格評価の調整等
人事会議	理事長・常務理事・施設長等8名	年間1回	職員異動及び配置についての検討等
コンプライアンス推進会議	理事長・常務理事・職員7名	年間1回	コンプライアンス違反事例の検討

安全管理委員会	施設長・職員 7 名	年間 4 回	危機管理マニュアルに準じた安全計画の推進
衛生推進委員会	施設長・職員 8 名	年間 3 回	感染症対策、環境衛生他
給食委員会	施設長・職員 2 名	年間 3 回	食育委員会・献立検討委員会の連携、推進
食育委員会	施設長・職員 5 名	年間 5 回	給食及び食育内容の検討
献立検討委員会	施設長・職員 6 名	年間 4 回	献立の見直しと食育活動の推進等
人材確保 PJ	施設長・職員 3 名	年間 1 回	年間を通じて人材確保への取組、養成校訪問他
職員互助会運営委員会	常務理事・施設長・職員 6 名	年間 2 回	互助会運営委員会の開催
研修委員会	施設長・職員 5 名	年間 2 回	職員研修の内容検討
広報委員会	施設長・職員 8 名	年間 4 回	地域向け広報紙等の検討
虐待防止啓発委員会	施設長・職員 6 名	年間 2 回	虐待防止セルフチェックリストの実施と虐待防止ガイドラインの作成
あすなる全面改築 PJ	施設長・職員 4 名	年間 5 回	あすなる保育園等の図面の検討等
事務会議	理事長・常務理事・施設長 1 名・職員 14 名	年間 3 回	事務・経理作業の確認

#### イ その他の会議

##### ① 施設等合同の会議

- ・こどもセンタースタッフ会議
- ・子育て支援センター会議
- ・根っこの広場合同研修会議 等

##### ② 各施設単位の会議

- ・職員会議
- ・3歳以上児3歳未満児連絡会議
- ・くろまめ会議（各保育園打合せ会議） 等

#### (3) 職員の福利厚生

福利厚生事業として、正規職員は、岡山県民間保育所職員退職金共済制度と福祉医療機構の退職金制度に加入しています。また、正規職員を除く月給制職員、週5日30時間以上勤務の日給制職員は福祉医療機構の退職金制度に加入しています。なお、週5日20時間以上勤務の時給制職員は、法人の時給制職員退職金制度に加入しています。職員互助会は法人独自の事業として理事・施設長・職員代表で運営委員会を構成し運営しています。週5日20時間以上の職員加入としています。

また、リフレッシュ休暇制度を導入し、採用後5年間以上継続して勤務している職員に、5年経過するごとに5日間以内の有給休暇の取得を推進しています。職員会に対しては、職員の親睦を深める活動に補助を行い、令和2年度はインフルエンザ予防接種の助成を行いました。

職員の健康管理として、全職員に生活習慣病健診を行なっています。また、給食調理職員、乳児担当職員については毎月の検便検査を実施しています。

(4) 財政の運営

貸借対照表で見ると、資産総額 2,288,229 千円、負債総額 228,477 千円で、差引純資産は 2,059,752 千円となりました。前年度より純資産 148,108 千円の増加となりました。

資金収支による収入では本部・6施設・5事業所・6クラブの当年度実質収入は 929,539 千円（拠点区分間等収入・積立資産取崩収入を除く）で、主たるものは保育事業収入 666,829 千円（75.5%）、放課後児童健全育成事業収入 75,031 千円（8.5%）、障がい福祉サービス事業収入 115,725 千円（13.1%）、経常経費寄附金収入 3,776 千円（0.4%）、受取利息配当金収入 3,942 千円（0.4%）、その他収入（給食費・雑収入等）17,427 千円（2.0%）となっています。

支出は当年度実質支出 808,003 千円（拠点区分間等支出・積立資産支出・資金残高取崩分を除く）。そのうち人件費支出 617,008 千円（※71.6%）、事業費支出 64,358 千円（※7.5%）、事務費支出 21,671 千円（※2.5%）、支払利息支出 491 千円（※0.06%）、その他の支出 10,605 千円、借入金元金償還支出 7,542 千円、固定資産取得支出 86,247 千円となっています。当年度資金収支差額は 24,190 千円となりました。

財政全体で見ると、当年度は、事業活動収入が若干増加しているのに対して、人件費、事業費及び事務費支出が減少しています。これは、新型コロナウイルス感染症対策等の補助金が各施設 100 万円近く給付されたこと、働き方の見直しに伴い非常勤職員の割合が増えたことが影響しています。保育園等を運営している社会福祉法人の経営指標で、健全な経営の目安となっている人件費率 75%を超過しないように経営を進めていながら、財産及び積立金等を精査し、剰余金を社会福祉充実計画等に投資していきます。

※サービス活動収益に対する比率

事業活動資金収支の推移

単位（千円）

		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
		金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	比率(%)
収入の部	保育事業収入	578,926	82.3	656,639	77.8	684,975	78.6	672,153	77.5	666,829	75.5
	放課後児童健全育成事業収入	55,629	7.9	75,128	8.9	66,383	7.6	65,923	7.6	75,031	8.5
	障害福祉サービス等事業収入	41,744	5.9	82,608	9.8	88,795	10.2	103,597	11.9	115,725	13.1
	経常経費寄附金収入	1,195	0.2	3,288	0.4	3,902	0.4	4,118	0.5	3,776	0.4
	受取利息配当金収入	4,586	0.7	4,369	0.5	4,369	0.5	4,150	0.5	3,942	0.4
	その他の収入	21,239	3.1	21,466	2.5	23,343	2.7	17,366	2.0	17,427	2.0
	合計	703,619		843,498		871,767		867,310		882,733	
支出の部	人件費支出	466,961	68.9	586,794	71.8	629,114	74.5	625,003	73.9	617,088	71.6
	事業費支出	60,242	8.9	59,063	7.2	57,031	6.8	64,653	7.6	64,358	7.5
	事務費支出	21,574	3.2	30,560	3.7	22,155	2.6	29,336	3.5	21,671	2.5
	支払利息支出	257	0.04	592	0.07	582	0.07	539	0.06	491	0.06
	その他支出	10,875		13,395		16,097		11,279		10,605	
	流動資産の評価損等による資金減少額	63		0		140		0		0	
	合計	559,909		690,404		724,979		730,812		714,214	

※収入の比率は、事業活動収入合計に対するもの

※支出の比率は、サービス活動収益（保育事業収入、放課後児童健全育成事業収入、障害福祉サービス等事業収入及び経常経費寄付金収入の合計）に対するもの

※千円未満切り捨て等の処理により、端数が一致しない場合あり

(5) 令和2年度人件費積立金、施設整備等積立金の状況

単位（千円）

	令和元年度末 積立金 (人件費及び施設整備積立金)	令和2年度 積立金 (人件費及び施設整備積立金)	令和2年度 積立金取崩	令和2年度末 積立金合計 (人件費及び施設整備積立金)	令和2年度末 減価償却累計額
あすなる保育園	308,050	35,000	10,000	333,050	142,392
さくらが丘保育園	210,850	22,700	10,000	223,550	148,923
とよた保育園	128,700	15,300	5,000	139,000	122,569
さくらんぼ保育園	173,800	30,700	15,000	189,500	125,286
いちようの森こども園	46,000	26,500	5,000	64,500	37,050
根っこの広場	5,000	2,000	0	7,000	59,698
あすなるこどもセンター	7,177	1,709	0	8,883	26,967
さくらが丘こどもセンター	5,863	919	0	6,782	9,367
合 計	885,440	134,828	45,000	975,265	672,257

※四捨五入の処理により、端数が一致しない場合あり

(6) 重点課題の評価

◎…達成した、○…ほぼ達成した、△…やや達成できていない、×…ほとんど達成できていない

I. 利用者に対する基本姿勢

項 目	評価
[行動指針1] 児童処遇…保育・療育者の直接的な働きかけ ○自らを認め、育つことのできる場の提供 ・こども自身が、自らの存在を認められるような教育・保育・療育等を行います。 ・こどもが主体的に生活や遊びを展開できる場を提供します。	△
[行動指針2] 利用者の権利擁護 ○権利擁護 ・児童の人権の尊重と最善の利益の確保に努めます。 ・利用者及びその家族の人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重したサービスを提供します。 ・児童の人権擁護・虐待防止に向けて、保護者とともに取り組みます。 ・利用者の権利擁護について、職員が認識を深めるよう虐待防止及び人権教育等の取り組みを実施します。 ○インフォームドチョイス <sup>1</sup> の重視と対策 ・利用者への十分な説明をして理解を得られたうえでサービスの提供を行います。 ・利用者への説明にあたり、個々の特性に配慮した説明方法を用いて選択肢を提示するなど、利用者自身が適切に自己決定をできるようにします。	△
[行動指針3] 家族支援	

<sup>1</sup> 説明を受けた上での選択

<p>○子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての孤独感や悩みを話し合える場を積極的に提供します。</li> <li>・思いを受け止めながら保護者支援を行い、親としての育ちを支えます。</li> <li>・ともにこどもの育ちを支える者として、保護者と職員、保護者と保護者のコミュニケーションを活発に行います。</li> <li>・子育てに必要な情報を提供します。</li> </ul>	△
<p>[行動指針4] 環境整備</p> <p>○空間環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの利用者にとって、生活の場にふさわしい快適で安全な環境を提供します。</li> <li>・環境の整備を定期的に行い、こども自ら関わる環境づくりを行います。</li> </ul> <p>○施設及び設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の建築、改築及び修繕において、環境及び自然再生エネルギーを考慮した建物及び設備を検討します。</li> <li>・地域住民及び近隣住宅への迷惑とならないよう、適切な防音対策及び送迎時の車両渋滞等の対策を行います。</li> <li>・建物の内装・外装設備の修繕及び各種機器の耐用年数に応じた整備計画を策定し、実施します。</li> </ul>	△
<p>[行動指針5] 多様なサービスの充実</p> <p>○新規事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児者福祉事業、学童対象事業等、地域社会から必要とされる福祉事業について検討し、必要に応じて実施します。</li> <li>・新規事業を行う建物及び土地の確保等を行います。</li> </ul>	○
<p>[行動指針6] サービスの質の向上</p> <p>○教育・保育・療育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDC Aサイクルを活用し、日々の活動等の見直しを図ります。</li> </ul> <p>○安全管理、苦情解決及び虐待解決の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会を設置し、虐待防止に努めます。</li> </ul>	△

## II. 社会に対する基本姿勢

項目	評価
<p>[行動指針7] 地域における公益的な取り組み</p> <p>○貧困等の課題を抱える家庭への積極的なアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に配慮をしたこどもの居場所づくりや学力支援等を行います。</li> <li>・低所得者家庭への支援として、関係機関と連携し、相談や支援制度の説明等を行います。</li> </ul>	△
<p>[行動指針8] 情報発信・情報公開</p> <p>○利用者への発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設から保護者向けにホームページ、施設だより、保護者に向けたメール等を用いた情報発信を行います。</li> </ul>	○

## III. 福祉人材に対する基本姿勢

項目	評価
----	----

<p>[行動指針9] 人材育成</p> <p>○資質及び適性の見極め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の資質及び適性を診断し、効果的な人材育成を行います。</li> </ul>	△
<p>[行動指針10] 継続して働きやすい環境の整備</p> <p>○職員体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務日数及び勤務時間等について多様な働き方を検討し、職員体制の安定を図ります。</li> </ul> <p>○評価制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ひとりの能力に応じ、労働意欲につながるよう定期的に評価制度を見直します。</li> </ul> <p>○職員への処遇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の仕事上の悩みを相談できるような組織内における職員関係を作ります。</li> </ul>	△  ○  △
<p>[行動指針11] 人材確保</p> <p>○障がい者・高齢者の雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者及び高齢者をより積極的に雇用します。</li> <li>・ 障がい者及び高齢者雇用に必要な支援体制を構築します。</li> </ul>	×

(7) 施設合同の園内研修及び県外研修等の実施状況

ア 法人内研修（職員全員対象）

研修内容	実施月日	対象	講師名
法人研修Ⅰ 「保育の自由」（中止）	R2. 6. 13	全職員	白梅学園大学 学長 近藤幹生先生
法人研修Ⅱ 「(仮) 困難をかかえる子どもに寄り添い共に育ち合う保育」（中止）	R2. 11. 28	全職員	山陽学園大学 教授 上地玲子先生
年度末リモート研修	R3. 3. 20	全職員	理事長・常務理事・専門 部長等

イ 法人内研修（職員対象）

研修内容	実施月日	対象	講師名
新任研修	R2. 3. 30、4. 3	1年目職員	理事長・施設長等
財務研修	R2. 5. 14、7. 3	主任	常務理事
フォローアップ研修	R2. 9. 5	1年目職員	理事長・施設長等
管理者研修	R2. 11. 25～26、 28	施設長	理事長・常務理事・施設 長等
中堅職員研修(中止)	R2. 11. 28	中堅職員	理事長・施設長等

ウ 県外研修

新型コロナウイルス感染症の流行のため実施せず。

エ 人間力を高める研修

新型コロナウイルス感染症の流行のため実施せず。

オ 海外研修

新型コロナウイルス感染症の流行のため実施せず。



カ 自主研修（新任職員を対象、旅費の一部補助）  
新型コロナウイルス感染症の流行のため実施せず。

キ 研究会・年齢別研究会  
新型コロナウイルス感染症の流行のため実施せず。

ク その他  
保育園・こども園・こどもセンター・根っこの広場 巡回指導

(8) 施設環境の整備等

ア 主な建物（建物附属設備）・土地・構築物等の取得

施設名	建設工事名等	金額（円）	取得年月日	業者名
あすなる 保育園	土地・倉庫用家屋取得	2,000,000	R2.10.1	大西 雅夫
	倉庫用家屋解体工事	2,090,000	R3.2.10	(株) 中国建設工業
	トイレ改修等工事	1,338,117	R2.9.10	(有) 長宗工務店
	地質調査	946,000	R2.10.12	(株) フジタ地質
	設計管理料	5,016,000	R2.12.10	大塚建築設計事務所
	全面改築工事（着手料）	27,000,000	R3.2.10	中国建設（株）
	全面改築工事（出来高）	40,000,000	R3.5.14	中国建設（株）
とよた保育園	病児保育室及び事務室 拡張工事	2,970,000	R3.3.31	(有) 長宗工務店

イ 主な修繕（10万円以上）

施設名	建設工事名等	金額（円）	取得年月日	業者名
とよた保育園	漏水工事	883,300	R2.5.14	(有) ハナフサ工業
	給湯器修繕工事	170,500	R3.3.10	東部アサノエネルギー
さくらんぼ 保育園	木製屋根付き遊び場修 繕	337,700	R3.3.31	(株) タカトリ

ウ 主な器具及び備品（固定資産物品）の購入（10万円以上）

施設名	器具及び備品名	金額（円）	取得年月日	業者名
さくらが丘 保育園	スチームコンベクション オープン	1,265,000	R2.9.10	(株) タニコー
	エアコン	299,000	R3.2.10	(有) ヤシロ電器
	エアコン	220,000	R3.3.31	(有) ヤシロ電器
とよた保育園	デスクトップパソコン	251,900	R2.7.10	(有) 大熨器械商会
	スチームコンベクション オープン	990,000	R2.11.10	ホシザキ中国（株）
	エアコン	307,120	R2.11.10	光伸ホームサポート （株）
さくらんぼ 保育園	お出かけ兼用避難車	148,500	R3.3.31	(株) 岡山チャイルド 社
いちょうの森 こども園	ピアノ	1,091,200	R2.11.10	(株) 中国楽器
	ノートパソコン	157,000	R3.1.20	(株) ヤマダ電機

エ 財産処分について

施設名	処分物品名	数	購入金額	購入年月日	現在価格	廃棄年月日
-----	-------	---	------	-------	------	-------

	・規格	量	(円)		(円)	
あすなる 保育園	鉄骨造2階建園舎	1	41,203,230	S58.10.31	1	R2.11.30
	倉庫	1	672,000	H1.3.28	89,880	R2.11.30
	沐浴室	1	1,134,000	H13.3.31	519,088	R2.11.30
	沐浴室設備	1	1,102,500	H13.3.31	1	R2.11.30
	高圧受電設備一式	1	2,880,000	H19.3.31	470,736	R2.11.30
	洗濯機置場工事一式	1	1,351,066	H22.3.31	1	R2.11.30
	砂場整備工事一式	1	1,134,680	H22.3.31	1	R2.11.30
	園庭境界ネット	1	442,800	H30.3.31	351,327	R2.11.30
	エアコン	1	386,700	H12.7.28	1	R3.3.31
	エアコン	1	441,000	H13.3.9	1	R3.3.31
	エアコン	1	546,000	H13.3.9	1	R3.3.31
	エアコン	1	469,000	H16.3.31	1	R3.3.31
	エアコン	1	469,000	H16.3.31	1	R3.3.31
	エアコン	1	469,000	H16.3.31	1	R3.3.31
	エアコン	1	420,000	H20.2.12	1	R3.3.31
さくらが丘 保育園	スチームコンベクションオープン	1	1,984,500	H18.3.31	1	R2.8.24
	スチームコンベクションオープン架台	1	185,850	H18.3.31	25,780	R2.8.24
	エアコン	1	364,000	H15.3.31	1	R3.3.14
	エアコン	1	364,000	H15.3.31	1	R3.3.14
とよた保育園	エアコン	1	341,250	H13.8.10	1	R2.10.17
	スチームコンベクションオープン	1	1,407,000	H17.9.27	1	R2.10.15
さくらんぼ 保育園	デスクトップパソコン	1	247,000	H19.3.30	1	R3.3.31
	避難車	1	198,400	H13.3.31	1	R3.3.31

#### 4 保育・療育事業等の実施

##### (1) 保育園・こども園事業

- ア あすなる保育園の設置運営 園長 坪井 幸子  
赤磐市桜が丘西3-14-19 定員 200名
- イ さくらが丘保育園の設置運営 園長 高原 泉  
赤磐市桜が丘東6-6-704 定員 150名
- ウ とよた保育園の設置運営 園長 齊藤 歩  
赤磐市松木549 定員 70名
- エ さくらんぼ保育園の設置運営 園長 大田原 智美  
赤磐市桜が丘東2-2-809 定員 80名
- オ 幼保連携型認定こども園いちょうの森こども園の設置運営 園長 松本 清美

赤磐市桜が丘東3-3-496 定員 95名

(2) 障がい児通所支援事業

ア 児童発達支援センター もみじの家の設置運営 所長 花房 由美

赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 20名

イ 保育所等訪問支援事業 てつなぎ 所長 花房 由美

赤磐市桜が丘西10-2-16

ウ 放課後等デイサービス こぶしの家の設置運営 所長 花房 由美

赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 10名

エ 放課後等デイサービス あんずの家の設置運営 所長 杉井 康志

赤磐市桜が丘東6-6-704 定員 10名

(3) 相談支援事業

ア 障がい児相談支援・特定相談支援 わたぼうしの設置運営 所長 花房 由美

赤磐市桜が丘西10-2-16

(4) 地域生活支援事業

ア 日中一時支援事業 かりんの家の設置運営 所長 花房 由美

赤磐市桜が丘西10-2-16 定員 15名

(5) 放課後児童健全育成事業の実施

ア あすなるこどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志

・アンドロメダクラブ・スバルクラブ・カシオペアクラブ・オリオンクラブの運営  
定員各40名

・学力サポート事業「ひらめき」実施

・くらしサポート事業「ひのきカフェ」実施

イ さくらが丘こどもセンターの設置運営 所長 杉井 康志

・たいようクラブ・ぎんがクラブの運営 定員各40名

・学力サポート事業「まなびや」実施

・くらしサポート事業「さんカフェ」実施

(6) 子育て支援拠点事業の実施

ア あすなる子育て支援センターの設置運営

赤磐市桜が丘西3-14-19 所長 坪井 幸子

イ さくらが丘子育て支援センターの設置運営

赤磐市桜が丘東6-6-704 所長 高原 泉

(7) 施設合同事業の実施

ア そら組（5歳児）デイキャンプの実施

2泊3日の宿泊キャンプを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、国立吉備青少年自然の家において、日帰りのデイキャンプを行いました。令和2年9月8日にあすなる・さくらが丘・とよた・さくらんぼ・いちょうの森の5園の児童が、ハイキング及びキャンドルサービス等を行いました。

イ ほし組（4歳児）おでかけ保育

1泊2日の宿泊保育を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、岡山県青少年農林文化センター三徳園において、日帰りのお出かけ保育を行いました。令和2年11月4日にとよた・さくらんぼ・いちょうの森の3園の児童と一緒に、令和2年11月5日にあすなる・さくらが丘の2園の児童が一緒に行いました。自然の中でハイキングや野外遊びを行いました。

ウ 熊山登山の実施

新型コロナウイルス感染症の流行のため、中止しました。

エ 卒園旅行の実施

全園合同で神戸市王子動物園に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、岡山市池田動物園へ変更しました。令和3年3月3日にさくらが丘・とよた・いちょうの森の3園の児童と一緒に、令和3年3月4日にあすなろ・さくらんぼの2園の児童と一緒に行いました。

5 苦情処理制度の普及と対応

年度当初、保護者に対して苦情対応制度の説明と第三者委員等対応担当者の名簿を配布しています。保護者及び地域から出された苦情については苦情解決責任者（各施設長）で解決できたものも含めて、第三者委員会に報告し、指導助言をいただきました。

第三者委員は、弁護士1名及び赤磐市内民生児童委員経験者等の2名を委嘱し、2回（9月、3月）第三者委員会を開催いたしました。第三者委員への通告を求める苦情申し出はありませんでしたが、報告・指導助言をいただいた件数は6件です。苦情内容は下表のとおりです。

なお、第三者委員への通告はなかったため、苦情内容の公表はしていません。

(1) 苦情件数

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計
苦情件数	3	0	0	2	0	0	1	0	0	6

(2) 苦情内容

	あすなろ	さくらが丘	とよた	さくらんぼ	いちょうの森	もみじの家	こぶしの家	こどもセンター	支援センター	合計
説明情報不足	1									1
職員の対応							1			1
職員の言葉態度	1									1
保育内容										
こどものトラブル										
設備環境										
権利侵害										
その他	1			2						3
合計	3	0	0	2	0	0	1	0	0	6

※苦情内容は重複していることがあり、件数と一致しない場合があります。

6 個人情報の適切な管理

個人情報の秘匿義務については、職員に個人情報誓約書の提出を求め、年度末研修会及び職員会議等で周知徹底を図っています。

7 地域への情報公開の推進

(1) 情報公開パンフレットの作成・配布

法人及び各施設の事業について、その事業内容及び財政状況に関するパンフレットを作成し、保護者、関係機関、その他地域に配布しました。

また、運営状況、財務状況については、各施設事務室の閲覧しやすい場所に常に公表開示すると共にホームページでも公開しています。

(2) 顧問会計士・顧問弁護士・社会保険労務士の委嘱

顧問会計士については、丸川税理事務所と顧問契約を締結し、財政状況、経理内容について指導、監督を毎月1回受けました。また、顧問弁護士として、太陽綜合法律事務所と顧問契約を行い、法人・各施設に関わる苦情等の事案について相談助言を受けました。平成29年度より田中社会保険労務士事務所と顧問契約し、労務に関する手続きを委託しました。

8 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構に対し、令和2年度分借入金元金及び利息の償還を行いました。

なお、償還金は、該当する拠点・サービス区分会計により処理しました。

(1) とよた保育園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金（利息0%分）

元 金	780,000円
借入金残高	3,900,000円

イ 償還金（利息1.5%分）

元 金	1,710,000円
利 息	153,900円
借入金残高	8,550,000円

(注) とよた保育園園舎改築借入金総額は5千万円ですが、うち1,570万円は老朽園舎改築分として利息負担がありません。

令和2年度償還金合計	2,643,900円
内訳	
元金	2,490,000円
利息	153,900円
借入金残高合計	1,2450,000円

(2) いちょうの森こども園（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元 金	2,760,000円	
利 息	248,567円	(利率 0.55%分)
借入金残高	43,700,000円	
令和2年度償還金合計	3,008,567円	

(3) もみじの家（独立行政法人福祉医療機構）

ア 償還金

元 金	2,292,000円	
利 息	88,637円	(利率 0.34%分)
借入金残高	24,830,000円	
令和2年度償還金合計	2,380,637円	

9 理事会の開催

(1) 第210回 令和2年6月4日 さくらが丘保育園

出席理事 5名（欠席理事 2名）

議 案 令和元年度事業報告、令和元年度決算報告、監査報告、社会福祉充実計画、一時預かり事業の休止、あすなろ保育園全面改築に伴う借入れに要する担保、役員及び評議員並びに各種委員の報酬等の改定、令和2年

- 度第1次補正予算、次期理事の推薦、こども・子育て支援事業運営委員の選任、理事長・常務理事の職務執行状況の報告等
- (2) 第211回 令和2年7月30日 いちょうの森こども園  
出席理事 6名(欠席理事 1名)  
議案 給与退職金規程の改定、経理規程の改定、一時預かり事業の休止、令和2年度第2次補正予算等
- (3) 第212回 令和2年9月23日 いちょうの森こども園  
出席理事 6名(欠席理事 1名)  
議案 給与退職金規程の改定、あすなろ保育園の土地取得、あすなろ保育園施設用途変更、一時預かり事業の休止、令和2年度第3次補正予算等、上期内部監査の報告等
- (4) 第213回 令和2年12月24日 いちょうの森こども園  
出席理事 6名(欠席理事 1名)  
議案 基本財産の処分、経理規程の改定、とよた保育園病児保育室改修工事、前期末支払資金残高の積立資産支出への予算組み替え、令和2年度第4次補正予算等、第71回及び第72回評議員会の開催、あすなろ保育園全面改築工事の入札結果及び工事進捗状況、令和2年度事業経過報告、理事長及び常務理事の職務執行状況等
- (5) 第214回 令和3年3月6日 いちょうの森こども園  
出席理事 6名(欠席理事 1名)  
議案 経理規程の改定、保育園・こども園運営規程の改定、あかいわ児童発達支援センター運営規程の改定、月給制再雇用職員給与退職金規程の改定、賞与支給規程の改定、令和2年度第5次補正予算等、施設長の選任、令和3年度事業計画、令和3年度当初予算、評議員会選任・解任委員の解任、評議員選任解任委員の選任、第73回評議員会の開催、あすなろ保育園全面改築工事の工事進捗状況、令和2年度社会福祉施設指導監査の結果、令和2年度障害児通所支援事業指導監査の結果、下期内部監査の報告、保護者及び職員による施設評価アンケートの結果、令和3年度職員採用結果、外部団体役員等就任状況、理事長・常務理事の職務執行状況等

## 10 評議員会の開催

- (1) 第69回 令和2年6月20日 あすなろ保育園  
出席評議員 8名(欠席評議員 1名)  
議案 令和元年度事業報告、令和元年度決算報告、監査報告、社会福祉充実計画、あすなろ保育園全面改築に伴う借り入れに要する担保、役員及び評議員並びに各種委員の報酬等の改定、令和2年度第1次補正予算等
- (2) 第70回 令和2年11月28日 いちょうの森こども園  
出席評議員 7名(欠席評議員 2名)  
議案 定款の変更、あすなろ保育園全面改築工事の入札結果及び建設工事計画等
- (3) 第71回 令和3年1月4日 書面決議

- 議 案 基本財産の処分、定款の変更
- (4) 第72回 令和3年3月6日 いちょうの森こども園  
出席評議員 7名 (欠席評議員 2名)
- 議 案 あすなろ保育園全面改築工事の工事進捗状況、令和2年度社会福祉施設指導監査の結果、令和2年度障害児通所支援事業指導監査の結果、下期内部監査の報告、保護者及び職員による施設評価アンケートの結果、令和3年度職員採用結果、令和3年度事業計画、令和3年度当初予算等

## 11 法人・保育園監査の実施

- (1) 監事監査 令和2年5月25日 いちょうの森こども園  
出席監事 2名  
監査内容 法人・保育園・こぶしの家・子育て支援センター・こどもセンターの令和元年度運営及び財務

### (2) 岡山県社会福祉施設指導監査

#### ア 保育園・認定こども園

令和2年	10月	6日	さくらんぼ保育園
	10月	16日	とよた保育園
	10月	22日	あすなろ保育園
	10月	30日	さくらが丘保育園
	11月	13日	いちょうの森こども園

監査担当者 岡山県備前県民局保健福祉部職員

監査内容 令和元年度及び令和2年度各施設の運営状況

#### \*指導監査結果について

##### 文書指導

・あすなろ保育園 1件

##### 口頭指導

・あすなろ保育園 1件

・さくらが丘保育園 4件

・とよた保育園 1件

・さくらんぼ保育園 6件

・いちょうの森こども園 1件

#### イ 障がい児通所支援事業

令和2年11月5日 あかいわ児童発達支援センター 児童発達支援 もみじの家

監査担当者 岡山県備前県民局健康福祉部職員

監査内容 令和元年度及び令和2年度施設の運営状況

#### \*指導監査結果について

口頭指導 1件

### (3) 月例経理監査

丸川税理士事務所により、毎月1回経理監査と経理指導を受けた。

### (4) 内部監査

法人監事、理事長及び常務理事2名により、施設の運営状況及び経理状況について各施設単位に実施した。

#### 上期内部監査

令和2年	6月23日	こぶしの家、もみじの家
	6月30日	あんずの家、さくらが丘保育園
	7月1日	いちょうの森こども園、さくらんぼ保育園
	7月8日	さくらが丘こどもセンター、とよた保育園
	7月10日	あすなろこどもセンター、あすなろ保育園

#### 下期内部監査

令和3年	1月19日	こぶしの家、もみじの家
	1月21日	あんずの家、さくらが丘保育園
	1月26日	さくらんぼ保育園、いちょうの森こども園
	1月29日	さくらが丘こどもセンター、とよた保育園
	2月2日	あすなろこどもセンター、あすなろ保育園

#### 12 こども・子育て支援事業運営委員会の開催

第19回 令和2年6月10日 あすなろ保育園

出席運営委員 12名（欠席委員 0名）

議案 こども・子育て支援事業運営委員の選任、令和元年度事業報告、施設評価アンケート、令和2年度事業計画、社会福祉充実計画等

第20回 令和2年10月28日 さくらが丘保育園

出席運営委員 11名（欠席委員 1名）

議案 令和2年度事業経過報告等

第21回 令和3年2月17日 いちょうの森こども園

出席運営委員 10名（欠席委員 2名）

議案 令和3年度各事業利用申し込み状況、あすなろ保育園全面改築工事の進捗状況

#### 13 第三者委員会の開催

第1回 令和2年9月24日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 令和2年度上半期苦情解決の状況等

第2回 令和3年3月10日 さくらが丘保育園

出席委員 3名（欠席委員 0名）

議案 令和2年度下半期苦情解決の状況等

#### 14 職員採用試験実施状況

##### (1) 就職説明会の開催

第1回 令和2年6月10日（水）旭川荘厚生専門学院 参加者 28名

第2回 令和2年6月12日（金）あすなろ保育園・もみじの家 参加者5名  
その他、随時開催

##### (2) 採用試験の実施

第1回 令和2年7月18日（土）あすなろ保育園

受験者4名 うち正規採用4名



第2回 令和2年10月17日(土) あすなろこどもセンター  
受験者2名 うち正規採用1名、非正規職員採用1名  
正規職員任用試験(非正規職員として就労している職員対象)  
令和3年1月23日(土) いちょうの森こども園  
受験者2名 うち正規採用2名